平成17年5月23日

湯沢砂防事務所管内における融雪および土砂流出状況に関する ヘリコプター調査（第3回）

国土交通省北陸地方整備局
湯沢砂防事務所

今年の積雪は平年以上となり、また、新潟県中越地震により激しい震動にさらされた地域については地盤のゆるみが生じていると想定されます。
その対応として、湯沢砂防事務所では、管内の融雪、土砂流出状況等を把握するためにヘリコプターによる調査を４月末から実施しています。

● 調査日時　平成17年5月18日（水）～5月20日（木）

● 調査内容　湯沢砂防事務所管内について、砂防設備のある渓流を中心に、融雪状況、雪崩の発生状況、斜面の荒廃状況、土砂流出状況、砂防設備の状況についてヘリコプターによって目視で調査を行ないました。
（※芋川流域については、定期的に点検を別途実施）

● 調査コース（概略）　18日：水無川→佐梨川→羽根川→松川川→向松川→破間川→和田川
19日：登川→大源太川→魚野川→三国川→登川→清津川→中津川
20日：今年度の砂防工事の実施箇所の周辺

● 調査結果　一部の高標高域を除いて融雪はほぼ終了しています。今回の調査では、特に目立った土砂流出、雪崩等は認められませんでした。

● 今後の予定　今回も含め、これまでに3回のヘリコプターによる調査を行いましたが、特に目立った土砂流出、雪崩等は認められず、融雪もほぼ終了したと判断できることから、今回で調査を終了します。
今後は、地上から砂防設備等の点検を行う予定です。

●管内の様子

大源太川流域の状況

登川上流第2号砂防えん堤